

## ダイハツ臯月会 阪神支部 出前講座

～近畿地方整備局 六甲砂防事務所～

阪神地域特有の地形・地質からくる自然災害に対し普段から関心を深め、災害が発生した時の自己判断力を高めるために、ダイハツ臯月会の方々に六甲山地における土砂災害と対策についての出前講座を行いました。

## 概要

日時：令和2年 6月29日（月） 10:00～12:00

場所：西宮市立勤労会館

主催：ダイハツ臯月会 阪神支部

参加人数：約25名



六甲山の斜面は急峻で、風化した花崗岩で覆われているため雨で崩れやすい地形であることを知っていたくとともに、六甲砂防事務所で行っている砂防事業や、過去に起こった土砂災害により、甚大な被害を受けたことを説明しました。

また、講座のなかで土石流模型実験の映像を見ていただき、砂防堰堤の効果について確認していただきました。

過去に発生した土砂災害のうち、昭和42年7月豪雨災害で起こった大きな土石流を紹介し、一晩に12万m<sup>3</sup>の土砂をくいとめた、五助堰堤（住吉川水系）の効果に大変驚かされていました。



講演の様子

## ○参加者からの質問

Q: 砂防堰堤は水はどれくらい貯められるのか

A: 水は流しています。止めるのは土砂だけです。

Q: 災害時の県・市との連携はどうなっているのか

A: 県・市との合同演習を毎年1回行い、土砂災害が発生した際、関係機関が連携し迅速かつ適切に対応できるように実施しています。

Q: 国・県・市と砂防工事の担当、割り振りはどうきめているのか

A: 砂防治山連絡調整会議を毎年1回行い、その会議の中で決定しています。

## 【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局 六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15 TEL: 078-851-0535

